

(様式第2号)

地域振興推進費事業計画・自己評価書 (実績)

提出区分	実績	整理番号	9	課題区分	C	令和7年(2025年)5月14日
横断的な課題	高速交通網開通の効果を地域づくりに最大限に活かす基盤整備					
地域重点政策	人材や企業を呼び込む「つながり」の創出と地域の魅力発信					南信州地域振興局
実施機関	南信州地域振興局			担当課	所属	リニア活用・企画振興課
事業名	三遠南信地域マラソン大会スタンプラリー事業				電話	8-237-2285
				E-mail	minamichi-ikaku@pref.nagano.lg.jp	
事業の概要等	目的 (目指す姿)	三遠南信自動車道の全線開通を見据え、長野、愛知、静岡の県境を越えた交流事業を実施することで、つながり人口の一層の拡大を図る。				
	現状と課題	三遠南信自動車道の全線開通を見据え、長野県・愛知県・静岡県からなる三遠南信地域の発展に向けたつながり人口の拡大が課題となっている。 このため、各地域で開催されるマラソン大会を活用したスタンプラリー事業を実施し、地域内周遊・交流を促進する。 なお、令和元年度、令和4年度及び令和5年度に同事業を実施(令和2~3年度は、新型コロナウイルス感染拡大による中止。)しており、令和4年度の応募者数61名から令和5年度は応募者数180名となったが、地域の認知度はまだまだ低水準と思われる。令和5年度事業の結果から、本事業参加者のうち、長野県の大会に参加された方が少なく、長野県の来訪につながっていないことが考えられる。				
	内容 (変更後の内容)	○参加者は、対象マラソン大会の会場でスタンプを獲得し、(走者に限らず、大会スタッフ、同行家族なども参加可能)合計3個集めて、専用はがきで応募する。応募者の中から、抽選により各地域の特産品を商品として授与することで、スタンプラリーへの参加を促し、つながり人口を増やす。 ○本事業を幅広くPRするため、チラシ・ポスター・のぼり旗を作成し各市町村や観光施設、体育施設等に掲示する。 ○今年度及び次年度大会における本事業への参加者増に向け、マラソン大会会場にブースを設けて、本事業の周知を行う。 令和6年度においても、管内の対象マラソン大会にブースを設け、事業PRを行う。 参考:令和6年度対象マラソン大会数 18大会 うち南信州管内 3大会(飯田市、売木村、天龍村) ○本事業はまだ歴史が浅いため、令和5年度の事業の結果が本事業のポテンシャルと判断せず、賞品を温泉チケットなどにするなど、来訪や周遊を促すことも検討しつつ、現状を維持し、令和5年度より契約の前倒しにより広報期間を十分設けることで、本事業の参加者増を目指す。 ○合わせて、スポーツ施設やスポーツ関連団体への周知、SNSを活用した周知を検討し、広く参加者増を呼びかける。 ○地域の特色ある魅力的な賞品選定を行い、参加者意欲向上を図る。				
事業期間	令和6年5月 ~ 令和7年3月					
事業費等	(単位:円)					
	事業を構成する細事業名等	実施内容	計画額	備考		
	マラソンスタンプラリー事業	運営委託費	353,100	長野・静岡で50%ずつ負担。 委託料総計706,200円 (うち長野県分353,100円)		
	大会周知PR活動等	物品送付等通信運搬費	7,054	チラシ等郵送料		
	合計		360,154			

指標及び達成状況	成果指標	目標値	成果	達成状況
	応募者数(人)(令和5年度:180人)	200	197	一部達成
	特別賞要件該当者(各3県でスタンプ1つ以上、合計スタンプ4つ以上)(人)(令和5年度:3)	4	19	
事業実績・成果	<p>【実績】          応募者:180人→197人、そのうち応募要件該当者:177人→171人と、応募者数は増加したが応募要件該当者は微減となった。これは、重複応募やスタンプ不足等による無効応募が多数あったことが原因である。当県の応募者数は8人→8人と増減はなかった。特別賞要件該当者は19名と大幅に増加した。この状況から、一定数の応募者は見込める事業であり、事業の認知度も着々と上がっていると考えられる。</p> <p>また、長野県開催の3件全ての対象のマラソン大会に赴き、事業の周知や参加の呼びかけを行ったことで、来年度以降の参加者獲得に手ごたえを感じた。①10月13日・うるぎトライアルRUN:参加者150人全員へチラシを配布し、他の来場者へもチラシを配布した。②10月14日・風越山トレイルマラソン大会:参加者454人の約9割にあたる400枚のチラシを配布した。③2月16日・天龍梅花駅伝:全112チームへチラシを配布し、他の来場者へもチラシを配布した。</p> <p>【成果】          上記のような広報活動の効果により、目標値に近い応募者数、有効応募者数となり、目的に掲げている交流人口の増加に繋がることができた。特に特別賞要件該当者の大幅な増加は、3県の周遊及び交流人口の増加に大きな影響を与えた。</p>			
今後の方向性	<p>基本的な内容は令和6年度と同様と考えているが、令和7年度から愛知県でも事業の予算化が可能となり、3県一体となり広報力強化を図っていききたい。さらに事業の周知を図るため、SNSを活用した周知や他県の対象大会に赴いてスタンプラリー参加の呼びかけを行いたい。また、課題である長野県への来訪につなげるため、賞品を管内温泉のチケット等にするを引き続き検討し、大会参加ランナーに直接働きかけるランニングサイト等への広報にも力を入れていききたい。</p>			